

繪ハガキ競技會記事

(第二十七回)

暑熱 (意匠)

河 (技術)

一等	濱邊	那須田重雄	靜流	和賀井汀波
二等	曝書	中尾 正幹	勝見川	後藤 曉露
三等	鬼瓦	後藤 百次	北上川	海老名研二
四等	赤道直下	鈴木 昇	里川	藤田 紫舟
五等	日盛り	工藤 太郎	多摩の遠望	堀内 汎
六等	犬のあへぎ	藤田 紫舟	周布川	後藤 百次
七等	肌脱ぎ	飯田 宗吉	多摩川	赤城 泰舒
八等	梅干	榎本 滋	夏の河	工藤 太郎
九等	向日葵	筒井角太郎	朝の川	加毛 精一
十等	アフリカ	吉川 晴帆	川口	野口 六三
十一等	雨乞	中尾 春雄	里川	吉川 晴帆
十二等	雲の峰	長谷川晚雪	溪流	牧野 露香
十三等	蟬	後藤 曉露	木津川	乙部 笑波
十四等	夏	赤城 泰舒	河邊	立花甚之助
十五等	蟬	樋口 絹子	小河	榎本 滋
十六等	氷屋	瀧島 寛水	小流	石田 翠彩
十七等	雲の峰	海老名研二	九頭川の上流	樋口きね子
十八等	臨時列車	森 榮一	多摩川	中村 愛亮
十九等	百二十度	須藤 隆治	大川の上流	相田 寅彦
二十等	正午	池田 真人	小川	中井 晒石

(以下略)

八月二十五日青梅に於て開會、出品者六十五人、總數二百五十六枚、選評の結果上記の如し。

課題困難にして意匠畫に佳作少なりし、一等は暑苦しき色彩を用ゐずしてよく其感を現はしたり、二等曝書に百日紅をあしらひしは嬉しく、三等鬼瓦は筆數少くして意味深かりし、猶出品畫中に氷屋を描きしものありしが、多くは涼しき感を起すもののみなりし。技術、河には佳作あり、一等は穩やかに、三等は筆致放奔の態ありし。
瀧島寛水、相田寅彦、横田順三諸氏の奮勵を望む

十月課題

秋の夜

(意匠)

小春

(技術)

十月二十日

締切

十月二十八日

午後二時より日本橋區本石

町十軒店三、門井學校内にて開會

但出品畫は小石川區關口駒井町春鳥會

宛に送られたし

■十月課題意匠の部は奇抜の誤